

第1回 「自由について」 (2025.12.06 開催)

<概要をまとめる意義>

以下、今回の哲学カフェの内容について概要をまとめる。

これは議事録ではない。迷ったら何度もここに立ち返り、その内容を容赦なく批判し、議論しなおし、更なる”問い合わせ”の根源へ一步でも近づくための手掛けかりとしてほしい。

<自由について>

自由という大きなテーマについての取っ掛けは親の小言や、会社、学校のルールから解放されたいというところから議論が始まった。また、一見自由に選択できる状況であっても、そこに至るまでの過去の選択がこれからの選択を事実上、制限している(例えば建築の大学に行って就活で美容師になる人は稀である)とすれば、ここに自由な選択は可能なのかという疑問に至った。別の視点では、新たな技術による自由の制限について議論になった。代表的なのはSNSと防犯カメラである。SNS上のキラキラした投稿が積重なるほど、リアルな自分と乖離していき、結果的にリアルな自分がSNS上の自分(虚像の自分)に無理して寄せていくというような不幸な状態に陥る。これはもう”役者”状態であって”自由”はないということだった。一方、防犯カメラは非常時には役立つが悪用しようと思えば、今日の服装も買い物の内容も、誰と話し、そこに何分いたかも全て監視されていることになる。これは”自由”ではないが、逆に監視されていることが自分の利益に資する場合もある(例えば、アリバイの証拠になる)とすれば、監視されるデメリットと防犯のメリットを同時に考える必要が出てくるという議論になった。

<“自由”を読み解くキーワード>

- ・積極的自由(理想を追求する自由)と消極的自由(つながり喪失による無力感や孤独)
- ・同調圧力下での自由(マスク警察、自粛警察など空気感による締付)
- ・自由と責任(両者は表裏一体)
- ・選択”する”自由と選択”させられる”自由
- ・フィルター越しの自由観(空気感やいわゆる”べき”論によるバイアス)
- ・「完璧な自由」は「完璧な孤独」
- ・自由は光、自由は影

これらのキーワードから、新たな”問い合わせ”へ変換した。

<新たな問い合わせ>

- ・同調圧力下でも空気感に囚われない自由の在り方とは？
- ・自由するために必要な責任の在り方は？
- ・自分の”自由”リソースはあるか？それを使ってなにができるか？
- ・自由を定量化し、それを共通認識にできるのか？
- ・自由≠責任 ※両者をバランスよく見れていないという意味
(責任を意識しすぎて自由に動けない、あるいは自由を意識しすぎて責任がとれない)